

ユニバーサルレイアウトの試行について

平成18年3月、ファシリティマネジメントにおける庁舎スペースの有効活用方策の一環として、建設部建築局においてユニバーサルレイアウトを試行的に導入しました。
今後、試行の結果を検証した上で、全庁的な展開に向けて検討していくこととしています。

【ポイント】

- ワークユニットの採用により執務スペースを縮小し、打合せスペースを充実
 - ・6個の机でワークユニットを組み、グループ人数に関わらず同一ユニットの配置で構成
 - ・ゾーニングと動線の明確化
 - ・執務スペースを窓側に、打合せスペースを廊下側に配置し、外来部と執務室のゾーニングを分離
- フロアのオープン化（課の統合による）
 - ・課の間仕切り廃止によるオープン化を採用
 - ・フロア全体に適用することで、改組のたびに間仕切り変更せず柔軟に対応可能

【導入前】



【導入後】

